

平成30年度

放課後等デイサービスあおぞらに関するアンケート調査 結果報告

～ 事業者向け ～

実施期間 平成30年5月20日～6月16日
配布:13名 回収:13名 回収率:100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	事業所から
環境・体制整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5	7	1		
	2	職員の配置数は適切であるか。	5	7	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	7	4	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	6	1		
	5	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	9	4	0	保護者との話の場やコミュニケーションの場が増えていくとさらに良いと思う。	パート職員にも保護者との茶話会参加を促していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	3	9	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	10	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	10	3	0	勉強会の場が増えると、職員の考え方や知識が増え、さらに良いと思う。	外部研修へ積極的に参加し、事業所内で再度勉強会として研修内容を周知してもらう。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	4	0	・よく交流し分析されていると思う。 ・アンケートや保護者との意見交換の場が増えると、もう少しニーズに答えられ、統一した支援に繋がるのではないか。	年に一回の保護者との茶話会、随時個別懇談を受け付けている。
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3	9	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	4	1	少々、個人まかせになっているように思う。	日々の活動の中で意見交換を行っていく。

	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	7	5	1	話し合いは行うが、活動内容が同じになっている。	利用者が楽しめる活動を考慮していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。	7	6	0	よく工夫されている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	6	0	集団活動が少ない。	外出活動等の活動は計画をたて実行できている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	3	7		“パートを含め”は時間的に難しいのか？	朝の利用開始前に一日の流れを職員に報告していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	12	1	0	他の職員より早く帰るのでよくわからない。	支援終了後、申し送りの時間を設け、一日の振り返りを行なっている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要を判断しているか。	11	2	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	9	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	11	2	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	10	3	0		
	22	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。	2	8	3	医療的ケアの必要な方の利用なし	看護師が在中していない為、今後も受け入れは考えていない。
	23	就学前も利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	7	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	8	0		

	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	7	4	2		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	1	5	7		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	7	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	3	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	4	6	3		
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	10	3	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者回答を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	8	3	2	回数が増えると参加率があがり、良い方向へもって行けると思う。	保護者会となると拒否される方がいる為、保護者茶話会という形で保護者同士の意見交換の場を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	4	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	6	0		
	35	個人情報に十分注意しているか。	13	0	0		
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	2	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	5		
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	8	0	保護者にはできていない様に思う。	今後、マニュアルを配布できるように検討していく。

の
対
応

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練に行っているか。	7	5	1		
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか。	7	5	1		
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	3		まだその機会が無い。	安全性を考慮し、ミトンの使用、個室での対応になること等を、保護者の了解を得て支援を行なっている。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	4			
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	10	3			